

地域密着型特別養護老人ホームわかば
令和 7 年度 第 3 回 運営推進会議

施設長	作成

開催日時		令和 7 年 8 月 27 日(水)		午前 1 1 時～午前 1 1 時 4 0 分	
開催場所		特別養護老人ホームわかば 1 階 会議・研修室			
サービス区分		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護			
出席者の状況	委員（職種）	委員数（ 10 ） 名／出席（ 7 ） 名			
		（利用者代表）		（家族代表）	
		－(地域代表)－		（市町村職員）	
		－(第三者委員)－		－(知見を有する者)－	
		（中央地域包括センター職員）			
	職員（役職）	（特養わかばイースト施設長）			
		（特養わかば生活相談員）			
		（特養わかば施設長）			
報告事項		出席者紹介 ● 活動状況報告 ● サービスの質の向上にかかる事項 ● その他、意見交換			

次第

出席者：別添資料（スライド⑮）に構成メンバーを記載。

第 3 回の開催にあたり、地域代表委員が他会議出席のため、知見を有する者委員と第三者委員が体調不良による欠席となる報告が行われた。

● 地域密着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

令和 7 年 6 月～令和 7 年 7 月度期間における稼働件数推移について報告。

● 男女別稼働件数推移

期間として 6 月はお客様の入退に伴う空床が 9 日あり、稼働率 9 8.9 %、5 月は満床稼働で終了。

● ユニット別稼働件数推移

先述の入退に伴う空床が B ユニットで発生。

● 要介護度別利用者数推移

6 月・7 月の推移変化はないが、4 月度より要介護 4 認定者が + 1、要介護 3 認定者が 1 名減。いずれも月末時点では 2 9 名で終了。

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均要介護度は 4.2 (女性： 4.3 男性： 4.0) と前回報告より変動なし。

年代構成としては 7 0 歳代× 1 人

80歳代× 9人

90歳代×19人

- サービスの質の向上にかかる事項

3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（15名中12名＝80.0％）。

15名のうち、1名は産休取得中、1名は育児時短勤務。

実務者研修修了者1名、初任者研修受講予定者2名。

4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- ・ 嘱託医の往診 2回／月（隔週(第1・3)月曜日)
- ・ 理美容サービス 1回／月（不定期で追加日程を設けている）。
- ・ セブンミール 2回／月（第2・第4木曜日）開催。
- ・ 栄養サポートチーム 毎月1回開催。
- ・ 身体拘束廃止委員会 1回／月

毎月の月次部門会議において不適切なケアを含む該当事案がないことを確認している。
また、やむを得ない事情の場合の手順や対応についても確認を実施していることを報告。

- ・ 見守り支援機器等活用委員会

私用している機器の不具合報告等なく、お客様の状態に適した離床タイマーの設定やセンサーマットの使用について協議したことの報告。また通知音がすべて同じ通知音であることから、ユニット内において、特に事故等事案につながりやすいお客様の通知音を別に設けるなどの配慮をしている報告を行う。

- ・ 行事等

ほか、各会議の開催は配布資料の通り。

5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告として配布報告資料の通り。

※なお、研修に参加できない職員は全員レジュメに沿ったレポート提出を義務付ける。

6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑬）

- ・ ヒヤリハット報告

配布資料の通り。通期累計件数としては6件。

- ・ 事故報告

配布資料の通り。通期累計件数としては19件。

- ・ ヒヤリハット分類（通期）

内訳として転落・転倒・誤薬分類が22％、次いで異食・その他が11％

保管している他お客様のおやつを食べてしまった事案があり、異食と金銭トラブルにカウント。

- 事故分類（通期）

内訳として転落５０％、外傷４０％、転倒１０％となっている。重症者はないものの、車いす座の姿勢でテーブルから落としてしまったおやつを拾い上げようとして、自ら車いすのブレーキを解除、手を伸ばした際にずり落ちてしまう。

また、洗身後に立ち上がろうとしたお客様が床に残った泡で足を滑らせ、職員が支えきれず転倒した事案報告。

- 参加者からの意見・ご提案等について、

（中央地域包括支援センター）

- ヒヤリハットや事故報告を聞いて、前職でも経験がある。いかに防ぐか、予測した行動を意識していけたらいい。
- その他、カフェテラスわかば開催案内など告知。

（市健康福祉部長寿生きがい課職員）

- 本市のオレンジカフェ、ミズノ体操教室、市民公開講座の開催案内。

（相談員）

- 口腔ケアの話があったが、経口摂取の有無にかかわらず、誤嚥性肺炎のリスクも考えると口腔内の清潔保持にはもっと力を入れていきたい。最後までご自身で口から食べられるようにサポートしていきたい。

（特養わかばイースト施設長）

- コロナ感染について、まだ収束していないことをしっかりと周知していきたい。

次回の開催予定月は偶数月の１０月度の開催として調整。